

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和5年4月3日

事業所名:児童発達支援 みつばち

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・活動内容に応じて、確保できている。	はい100% ・スペースが広い。公園に行けて大きな遊具が使える。うれしい。	・継続していく。
	2 職員の適切な配置	・非常勤含め、有資格者のみ配置している。 ・月1回PPT指導あり。	はい93% ・どの方もよくみてくれている。	ご利用児がさらに増えてくると、有資格者の増員を検討する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・段差のある場所もあるが、スロープもあり。滑り止めを使用している。 ・日課や手順を写真で表示し、視覚支援を取り入れている。	はい80% ・本人が分かりやすいようにしてくれている。 ・家でも取り入れて、朝の準備がはやくなった。	・見通しを示すことで、切り替えがスムーズにできるようになっている。必要に応じて継続していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・手指の消毒、玩具の消毒を徹底している。 ・食後の拭き掃除や毎日の清掃で、生活空間を清潔に保っている。	はい93% ・中に入る機会がないので分からない。 ・居心地よく過ごしている。	・今後も徹底していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・こまめにミーティングを行い、評価・対策を検討している。 ・計画にそって同じ方向で支援できている。		・継続していく。 ・計画にそった支援方法の案を、スタッフからも発信し、様々な視点で多角的みていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・実施できていないが、今後検討していく。		・検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・ミーティングだけでなく、個別で面談を行い、支援の反省や意見交換を行っている。		・継続していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・可能な限り出来ている。	①②③ はい100%	・継続していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・可能な限り出来ている。	・親も気付かなかったところに気付いてくれた。 ・面談の内容や子どもの現状が反映されていた。 ・子どもの成長に合わせて作成されていた。 ・子どもだけでなく、親の心配をしてくれてうれしかった。	・継続していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・可能な限り出来ている。		・継続していく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・可能な限りできています。	はい100% ・具体的に説明してもらえたので、家でも同じように実践することができた。	・継続していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・課題学習においては、個々のレベルに合わせてひとりひとり違う内容を課題提供をしている。 ・SSTを中心とした全体活動を計画している。その日の状況やメンバーに応じて変更している。		・幅広い活動内容を提供していく。 ・個々のレベルに応じたものを、少し頑張ればクリアできるような課題を提供し、スモールステップの中にも向上心を持てるような活動を計画する。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・日常の経験を積み重ね、経験値をあげている。	⑦ はい93% ・いろいろなプログラムがあり、本人がやりやすいように工夫してくれて参加している。 ・家ではさせてあげられないことを経験できている。	・継続していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・SSTだけでなく、粗大運動・リトミック・楽器遊び・クッキング・遠足などを実施。 ・個々に合わせて、バスに乗る練習、初めての場所に慣れる練習なども行っている。		・継続していく。 ・活動のねらいを明確に、幅広い活動を行う。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・可能な限りできています。 ・送迎の為、スタッフ全員で参加出来ない事もあり伝達ノートを使用し、役割分担を把握している。		・継続していく。 ・役割分担が固定しないよう配慮する。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・支援終了と共に送迎に出るため、個別記録ノートに記載し、翌日必ず把握している。 ・SNSを通してその日のうちに、情報共有、伝達をする場合もある。		・継続していく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・個別に評価ノートを準備し、毎回記入している。スタッフの対応や本児の理解度、行動改善などを記録し、支援の検証を行っている。		・継続していく。 ・追記して記入できるため、支援に携わったスタッフが積極的に記入していく。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・行っている。		・継続していく。
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・サービス担当者会議や、各関係機関との面談は、児発管が参加している。		・会議の開催時間によっては、スタッフの同行を検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・看護師が常駐していない為、午前中のみ療育を実施している。		・今後は食事支援を開始する。初回は母同伴で介助方法や注意事項を確認し、マンツーマンで対応していく。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・書面にて情報共有を行っている。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	・担任と児発管による面談を実施している。 ・発達検査の結果や計画書を示し、継続した支援が出来るようにしている。		・継続していく。 ・必要に応じて、相談員さんを含めた担当者会議をじっしs
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・対象児童なし。		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・専門機関との連携はとれている。 ・研修は、療育時間内に開催されていることが多く参加できていない。		・療育に支障がないように配置を調整し、参加できるよう検討する。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・放課後等デイサービスとは行き来することがあり、異年齢交流もとれている。	はい53% ・放課後等デイサービスに遊びに行ったことが無かったのでもいい経験が出来た。	・地域のサークルに参加を検討中。障がないのこどもとの交流も積極的に行っていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・開所1年目で、地域住民の招待が出来るような行事の計画はしていなかった。		・まずは療育に力を注ぎたいという思いもあるが、こどもたちへの理解を深めて頂けるような、地域に開かれた行事を検討したいと思う。
	保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・可能な限りできている。	はい100% ・契約時に説明があった。
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		・可能な限りできている。	はい100% ・家でも同じように取り組めるような目標が出来て良かった。	・継続していく。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		・対応に困っておられる話があれば、すぐに電話で事業所での様子や対応をお伝えしたり、玄関先で話したり、面談を行ってきた。	はい60% ・お迎え時の忙しい時でも聞いてもらえて、アドバイスももらえた。 ・ペアレントトレーニングは無かった。	・両親そろって面談室で話し合う事だけがペアレントトレーニングではなく、困ったその時に迅速に対応している。面談をご希望されていれば日程調整を行う。
4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		・送迎時に口頭でお伝えしたり、連絡帳には活動の内容や取り組みの状況を記載している。 ・SNSで写メを送っている。	はい100% ・お迎えの時に丁寧に説明してくれている。 ・写メや動画が送られてくるのが楽しみ。	・継続していく。
5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		・ご相談があればすぐに電話で対応している。	はい86% ・悩み事に対してすぐにアドバイスももらえた。幼稚園に対して言いづらいことも代弁してもらえて解決できた。	・迅速に対応してきたが、電話対応だけでなく、面談をご希望されているか確認をとっていく。
6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		・密を防ぐために、開催できていない。 ・送迎時、出入口付近での保護者同士の交流も挨拶程度に控えている。	はい33% ・可能であれば、他の保護者と話せる機会がほしい。 ・父母会が特に必要だとは思わない。	・コロナ渦も落ち着いてきており、参加者を募って実施を検討する。
7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		・必要には出来る限り対応させて頂いている。 ・迅速な対応をし、スタッフに周知しているが、子どもや保護者への周知は行っていない。	はい66% ・苦情を出したことがないので分からない。	・苦情解決があれば、可能な限り、対面で対応させていただく。 ・苦情があればすぐに対応できるよう体制を整える。
8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		・可能な限りできている。	はい100% ・発語がないので連絡帳に細かく書いてあることがありがたい。	・継続していく。
9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		・行事があるたびに、内容詳細についてのお便りを配布している。	はい93% ・ホームページがない。	・ホームページとInstagramの開設を行い、活動の様子などを発信していく。
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応		・出来ている。	はい100%	・継続していく。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・月ごとに避難訓練を実施している。(火災・不審者・地震)	はい100%	・継続していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・同上	はい66%	・ご利用回数が少ない子の日程調整を行い、避難訓練に参加できるよう配慮する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・出来ている。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・出来ている。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・出来ている。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・危険を未然に防げるよう対応させて頂いているが、今後、危険な事があればヒヤリハット報告書を作成し、書面にて残し共有していく。		・ヒヤリハットを実施する。